

北陸新幹線福井・敦賀開業まで3年 走りだせ！福井県

北陸新幹線開業や中部縦貫自動車道の全線開通など、交通網の整備が着実に進んでいる福井県。この100年に一度のチャンスを最大限に生かし、本県のさらなる発展につなげていきます。

工事は後半戦に突入

高架橋やトンネルなどの土木工事は、県内沿線全線(74.4km)の約6割が完了。令和2年度内におおむね完成する予定です。

県内延長の約4割を占めるトンネル工事は、6年の歳月をかけて進めてきた新北陸トンネル(南越前町・敦賀市、延長19.8km)の掘削が約300mを残すのみとなるなど、9割が完了しています。年内には、12か所ある県内すべてのトンネルが完成する予定です。

また、高架橋や橋りょう工事についても、今年3月に完成した全国初の新幹線と道路の一体橋である九頭竜川橋りょう(延長414m)を皮切りに、順次完成

となる予定です。

レール敷設や 駅舎建築工事もスタート

今月からはレールの敷設も始まりました。

レール敷設には、1本25mのレールを県内区間で13300本使用。昨年9月から敦賀港と福井港で陸揚げしています。レールは、継ぎ目を少なくして騒音を減らすため、数km〜30kmの長さに溶接します。敷設は、架線などの電気工事とともに令和3年度内におおむね完了する予定です。

また、夏ごろからは、芦原温泉、福井、南越(仮称)、敦賀の県内4駅舎の建築工事に順次着手。令和4年内に完成する予定です。地域の特色を取り入れたデザインの駅舎が姿を現す日が楽しみです。

◎新幹線建設推進課

☎0776-20-0298 FAX20-0729



北陸新幹線九頭竜川橋りょう



①②工が進む新北陸トンネル
③船で輸送されたレールを陸揚げ(敦賀港)
④約1200℃の高温で行うレールの溶接作業
⑤県内で最初にレール敷設が始まった福井高柳高架橋

提供:鉄道・運輸機構